

いよてい



仁淀川町
広報

8

2007年
月号 No.25



7月21日、池川保育園で夕涼み会が行われました。手作りのみこしの入場です

楽

夕

祭

涼

主な 内容

- 2.....藤原清一さん春の叙勲受章
- 3.....虫送り・保育所夕涼み会
- 8.....社会を明るくする運動
- 11.....池川SSCフットサル県大会で3位入賞
- 12.....救急車の適正利用にご協力を!

おめでとう 藤原清一さん 春の叙勲「瑞宝双光章」受章

平成十九年春の叙勲で、元仁淀川町消防団長の藤原清一さん（七十三歳・川口）が、長年にわたり消防団幹部として公共の福祉と安全に貢献された功績により瑞宝双光章を受章されました。

六月二十三日には、中央公民館で受章祝賀会が盛大に行われました。

藤原さんは、昭和二十七年に大崎村消防団に入団以来五十三年余りの長きにわたり、厳正な規律のもとに消防教養の向上に努め、常に率先して消防団活動に従事されてきました。

消防団一筋53年

平成六年からは吾川村消防団長、平成十七年からは町村合併した仁淀川町の消防団長として、消防団の育成・発展のため努力と熱意を傾注されてきた功績は極めて大きいものがあります。

受章祝賀会（主催 祝賀会発起人代表・青

木幸雄町消防団長）には、藤原富士登町長や県議会議員ら来賓と、消防関係者、ご家族



謝辞を述べる藤原さんご夫妻

や地域の方々など約百七十人が出席。

来賓からは「誠実な人柄で、究極のボランティア活動である消防団を支えてきた素晴らしい方」「持ち前のリーダー

シップを発揮し、消防団をまとめてこられた」「この上ない名譽。町民あげてお祝いし

たい」などの祝辞が贈られました。

これに対し、藤原さんは「平成十七年の町村合併時には、それまで切磋琢磨してきた各消防団が団結することになりました。昨年、森分団が全国大会で準優勝できたことは、その結果であり、大変うれしいことでした。多くの先輩方、消防機関、地域の方々のご指導のおかげで瑞宝双光章を受章でき、夢のようです。この章を家の宝とし、これからの人生も社会に報いるよう、精進していきたいと思います」と謝辞を述べました。

略 歴

昭和27年 9 月	大崎村消防団入団
昭和36年 3 月	吾川村消防団班長
昭和44年 3 月	吾川村消防団副分団長
昭和46年 7 月	吾川村消防団分団長
昭和55年 1 月	吾川村消防団副団長
平成 6 年 4 月	吾川村消防団団長
平成17年 8 月	仁淀川町消防団団長
平成18年 3 月	退職

仁淀・池川で消防団地区大会

町消防団の仁淀地区大会と池川地区大会が開催され、機械器具の点検のほか小型ポンプ操法などが行われました。



仁淀大会



池川大会

仁淀地区大会は、6月24日、仁淀中学校グラウンドに青木幸雄団長以下89人の団員が参加して行われ、仁淀方面隊の7分団による小型ポンプ操法で、日ごろの訓練の成果を競いました。

結果は、第1位が森分団、第2位が川渡分団、第3位が長者分団でした。

また池川地区大会は7月22日、一ノ谷駐車場で青木団長以下61人の団員が参加して行われ、池川方面隊の2分団が小型ポンプ操法で競い合い、池川分団が第1位となりました。

森分団と池川分団は、8月5日に仁淀中学校、観光センターほかで行われる仁淀川町消防団夏季大会に出場します。

はためくのぼりが豊作を呼ぶ

7月1日 上川渡・戸立地区

上川渡大師堂に両集落から集まった約40人が、お神酒をいただいた後、かねや太鼓を先頭にのぼりを持って集落を練り歩きました。

椿山や谷山では、のぼりに文字を書きますが、ここでは何も書いていないのぼりを持ちます。



町内四地区で、毎年行われている伝統行事「虫送り」。六月の椿山、谷山地区に続き、七月には上川渡と上名野川地区で行われました。

上川渡・上名野川で虫送り

山あい揺れるたいまつ火

7月18日 上名野川地区



夕暮れ時に、たいまつを持った人たちがかねや太鼓に合わせて練り歩きます。

写真のように、道中、3カ所で立ち止まって、たいまつを地面に置きお祈りをします。たいまつ火が向いている方向の山には神様が祭られており、その神様に豊作を願います。



保育所夕涼み会



各保育所で恒例の夕涼み会が行われました。踊りや太鼓の演奏などを元気いっぱい披露する園児に、訪れた大勢の人が拍手を送っていました。



長者保育所

六月二十三日



ふたば保育所

七月七日



大崎保育所

七月七日



池川保育園

七月二十一日



大野 政直さん



隅田 徳松さん

北川の年中行事について、隅田徳松さんと大野政直さんにお話を伺いました。ほかの集落には見られない、珍しい行事もあります。

集落見聞録

(第21回)

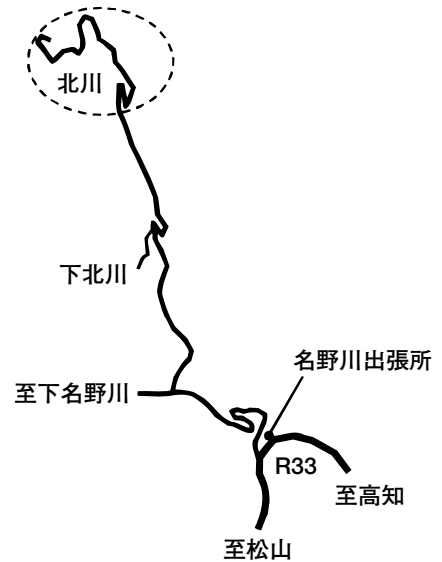
きた がわ
北 川



北川集落

北川は、役場本庁から車で約20分、7月末現在25世帯、59人の集落です。

周りは山に囲まれ、集落内には仁淀川の支流、中津川に流れ込む北川川が清らかな流れをたたえています。



七夕祭り、オセガキ 集落で行う盆行事

盆行事 七夕祭りとおセガキ

旧暦七月六日の早朝、各世帯から人が出て集落の谷の上に縄を張り、手作りのわら草履やナスやトウモロコシ、色紙で作った飾りを縄に飾りつけます。この飾りは、朽ちるまでそのままの状態でおきます。

この翌日、旧暦七月七日には古くから伝わる「オセガキ」という盆行事が行われます。この行事は、集会所で集落内の無縁仏の供養をするものです。

七夕は、盆行事の一環として

て、祖先の霊を祭る前の、み

そぎの行事であったという説があります。また「オセガキ」は「お施餓鬼」と書くと思われ、その意味は「餓鬼道（生前に欲の深かった者が死後行く所）に落ちて飢餓に苦しむ亡者や、無縁の霊に食物を施す法会」と国語辞典には書かれています。

このような一連の盆行事を集落で行っているところは、あまりないのではないかと思います。

荒神祭り

旧暦九月二十八日に、隣の下北川集落との共同祭礼で、両集落の神社で一年交替で行われます。

年によつては相撲をとったりすることもあるそうです。



北川を訪れたのは7月19日。北川神社では、翌日の神祭の準備をしていました

北川神社



北川神社の神祭

七月二十日と十二月十八日に神祭が行われます。十二月は名野川磐門神樂の奉納もあることから、大変にぎやかな一日となるそうです。

1 リットル7 銭

>>> 簡易水道料金 <<<

簡易水道とは

水道施設は、その給水人口の規模により飲料水供給施設、簡易水道、上水道と名称が分けられています。給水人口百人以下を飲料水供給施設、百人以上五千人以下を簡易水道、五千一人以上を上水道と呼んでいます。

八つの施設

仁淀川町には、土居・坂本・田村・大崎・寺村・名野川・仁淀中央・仁淀長者の八つの簡易水道施設があり、これらの簡易水道施設を仁淀川町簡易水道事業特別会計で管理しています。

歳入の過半は繰入金

この特別会計の十九年度予算は、八千六百七十五万円で、うち水道料金や新規加入負担金等の収入は約四千万円で、残りは一般会計からの繰入金等で賄われています。

年間五十万トンを配水

平成十八年度の八施設の配水総量は、約五十万トンとなっています。これから計算すると、水一リットルを配水するのに約十七銭かかったこととなります。このうち、水道料金として利用者が負担す

る金額は約7銭です。
水を大切に

最近、一部の地区の簡易水道施設で水不足や施設の老朽化に伴う問題が生じています。これらを解消するには、施設の改修も必要になってきます。しかし、施設改修には多額の費用が必要となり、その費用は利用者が負担する水道料金や一般会計からの繰入金で賄わなければなりません。水を大切に使い、費用負担が増えないように努めましょう。



市販のペットボトルの水は、500ml入りで100円程度。簡易水道だと500mlの料金は3.5銭と約3千分の1。水道水だと100円で3千倍近い1.4ℓの水が利用できる計算となる。

ペットボトルの三千分の一

19年度簡易水道特別会計予算 (予算額：8,675万円)

歳入	歳出
水道料金や 加入分担金 などの収入 3,991万円	維持管理や 事務などの 経費 3,825万円
一般会計か らの繰入金 など 4,684万円	公債費 (借入金の返済) 4,850万円